

# 一般質問通告順序表

No.1 (6月18日)

番号	質問者	質問の相手	質問の要旨
1	大六野 一美	市長 教育長	<p><b>1. 商店街の活性化策について</b></p> <p>(1) 商店街の今後のあり方について伺う。</p> <p>(2) 地元商店街の人たちと連携した取り組みはできないか伺う。</p> <p>(3) 本市の「まぐろの町」を今後どう活かしていくか伺う。 (上野のアメ横を想定)</p> <p><b>2. 観光ルートの構想について</b></p> <p>(1) 市内に点在する観光ルートで、薩摩藩英国留学生記念館の位置づけについて伺う。</p> <p>(2) 観光ルートとしての冠岳の位置づけについて伺う。</p> <p>(3) 観音ヶ池市民の森について、桜の咲く時期の約2週間は来場者も多いが、年間を通して観音ヶ池市民の森を利活用できる方策はないか。</p> <p><b>3. 土曜授業のあり方について</b></p> <p>本市の特色ある授業を取り入れる考えはないか伺う。</p>
2	楮山 四夫	市長	<p><b>1. 農業振興について</b></p> <p>(1) 農業者の高齢化に伴い耕作放棄地が増加の傾向にあるが、この対策について伺う。</p> <p>(2) 第4期の中山間地域等直接支払制度が始まるが、その特徴と本市の取り組み状況はいかがか。</p> <p>(3) 防災ダムの管理と水利用については規制が厳しいが、ダム管理の負担と整合性がとれていない。県に管理費の増額を要求すべきではないか。</p> <p>(4) 農地中間管理機構(農地集積バンク)の初年度実績が発表されたが、本市の実績はどうか。</p> <p><b>2. 災害対策等について</b></p> <p>(1) 川内原発1・2号機の再稼働が間近と報道されているが、その避難計画が具体的に示されていない。避難計画はどうなっているか。</p> <p>(2) 原子力防災ガイドブックに避難計画が示されたが、避難訓練のあり方(地区毎、時期等)についてどのように考えているか。また、風向きの変化に対応する別ルートが示されていないが、どうなっているか。</p> <p>(3) 梅雨期となり、大雨、台風シーズンとなって、自然災害も予想される。災害時の対応は十分か。</p>

3	原口 政敏	市長	<p><b>1. 水田農業対策について</b></p> <p>(1) 米の価格は低下し、耕作農家が減少している。耕作放棄地にならないため、所得補償を上げられないか。</p> <p>(2) 田畑の荒廢地に虫が発生し、住宅に侵入して苦慮している。何か対策はないか。</p> <p>(3) 本市の食糧自給率は計画どおり向上されているか伺う。</p> <p><b>2. 空家等対策の推進に関する特別措置法について</b></p> <p>平成 26 年 11 月に空家等対策の推進に関する特別措置法が成立したが、本市の取り組みについて伺う。</p> <p><b>3. 国道 270 号松山・松原付近の道路交通について</b></p> <p>(1) 国道 270 号で死亡事故が発生してから 4 か月が経過するが、横断歩道に信号機の設置はどのような状況か。</p> <p>(2) 現在、旧田崎スタンド前から市来小学校前の制限速度は 50 キロ走行と 40 キロ走行の区間がある。これまで発生した交通事故の状況から、制限速度を 40 キロ走行にできないか。</p>
4	中里 純人	市長 教育長 選挙管理委員会委員長	<p><b>1. 川内原発の再稼働について</b></p> <p>(1) 再稼働を目前にして不安の声が多いが、どのような認識か。</p> <p>(2) 原発の 20 年運転延長と 3 号機増設について伺う。</p> <p><b>2. 選挙制度改正と投票率について</b></p> <p>(1) 全国的な低投票率と本市の投票率について伺う。</p> <p>(2) 新たな期日前投票所の設置は考えられないか。</p> <p>(3) 「18 歳選挙権」に伴う若年層への啓発等の取組み、開票のスピードアップをどう図るのか。</p> <p><b>3. 携帯端末の取扱いについて</b></p> <p>(1) 小中学生のネット依存度について伺う。</p> <p>(2) 携帯電話等の使用時間の規制について伺う。</p> <p>(3) 携帯電話使用による子育て（サイレント・ベビー等）について伺う。</p>

# 一般質問通告順序表

No.2 (6月19日)

番号	質問者	質問の相手	質問の要旨
1	中村 敏彦	市長 教育長	<p><b>1. 空き家対策について</b></p> <p>(1) 全国の空き家は820万戸・13.5%、鹿児島県の平均値が17%といわれるが、本市の現状は前回答弁の921戸・7.5%と確認してよいか。</p> <p>(2) 本市の危険家屋とされている99戸について、空き家対策特別措置法で言われる「特定空き家」に該当する家屋と判断してよいか。</p> <p>(3) 特措法では、指導・勧告・命令を経て、固定資産税の「優遇措置」の解除、最終的には強制撤去も「可」としているが、本市は「解体補助制度」の次の段階としてどのような空き家対策をお考えか。</p> <p><b>2. 通学路の安全対策について</b></p> <p>(1) 5月15日、枕崎市において側溝に流されて小学校3年生の女児が死亡するという痛ましい事故が発生した。危険箇所等の通学路点検はなされたか。</p> <p>(2) 枕崎市では点検結果をもとに、最新の安全マップを作成し各家庭に配布予定とのこと。本市の取り組みはいかがか。</p> <p>(3) 同時に危険度の高い箇所から安全対策を講じるとのことであるが、本市の計画について市長の見解を伺いたい。</p>
2	東 育代	市長	<p><b>1. 地域防災計画について</b></p> <p>(1) 市内の指定されている46か所の避難所について、災害の種類で避難場所が異なることもあるが、住民への周知はどうか。</p> <p>(2) 福祉避難所の指定について、高齢者や障がい者などの災害時要援護者に対する対応は大丈夫なのか。</p> <p>(3) 避難所運営マニュアルでは、整備が必要な避難所があるようだが、現状はどのようになっているか。</p> <p>(4) 災害時要援護者の把握について、避難行動支援者名簿の管理状況及び地域支え合いマップ作成の進捗状況を伺う。</p> <p>(5) 介護施設、保健師等との連携はしっかりとできるのか。</p> <p>(6) 自主防災組織の現状について伺う。</p> <p>(7) まちづくり協議会・自治公民館・消防団等との連携について伺う。</p> <p><b>2. 空き家・空き地対策について</b></p> <p>(1) 特定空き家（危険廃屋）の現状と課題について伺う。</p> <p>(2) 長期空き家（危険廃屋以外）の現状と課題について伺う。</p> <p>(3) 空き地の管理について伺う。</p>

3	福田 清宏	市長	<p><b>1. コミュニティ自動車の運行について</b>  (1) 地区まちづくり協議会を中心とする運営協議会を組織し、10人乗りワゴン車を市が購入して、貸与し、必要経費を補助してのコミュニティ自動車の運行は出来ないか、伺う。</p> <p><b>2. 藻場造成とウニの除去について</b>  (1) 平成21年9月の定例会で、市内4漁業協同組合が、一つの活動組織をつくり、藻場の造成、食害生物・ウニの除去等の活動をするのを支援するため、「環境生態系保全活動支援事業」が、初めて予算化された。  その活動の今日までの推移について伺う。  (2) 串木野新港の建設に伴い、共同漁業権の一部が放棄された海域に、鹿児島県と共に、鉄かごのついた増殖プレートを設置して、藻を育成し、各漁協の共同漁業権内に移設して、藻場造成を行う事業は出来ないか、伺う。</p> <p><b>3. 原子力災害住民避難計画について</b>  (1) 全面緊急事態となった時の避難・一時移転に際してのバス避難集合場所の指揮は、誰がとるのか、伺う。  また、その指揮に係る訓練は行われているか、伺う。  (2) 避難済目印の掲示や避難誘導の訓練等について伺う。</p> <p><b>4. 空き家対策について</b>  (1) 空き家対策特別措置法に基づく行政代執行による強制撤去について伺う。  ①強制撤去とそれに要する費用の負担について  ②条例の制定について</p> <p><b>5. 土川小学校の現状について</b>  (1) 土川小学校が廃校となり、その施設を使用する企業が進出したとの説明を受けてきたが、現況について伺う。  (2) 今後、青少年研修センターや福祉関係等、本市独自の活用策の計画について伺う。</p>
4	福田 道代	市長	<p><b>1. 川内原発1・2号機の再稼働問題に関連して伺う</b>  (1) 川内原発の再稼働前に、県と30キロ圏内の自治体の共催による実効性のある住民参加の避難訓練を実施すべきと考えるがいかがか。  (2) 口永良部島の噴火に際し、川内原発の火山影響評価と火山のモニタリングについて、再稼働の前に九電に説明会の開催を求めべきではないか。</p> <p><b>2. 国会で審議中の安保関連法案について</b>  (1) 安全保障関連法案の根幹が問われているが、市長の見解を伺う。</p> <p><b>3. 本市の基幹産業である農業政策について</b>  (1) 農協「改革」関連法案は、戦後農政の基本となってきた農協・農業委員会、農地改革制度を根底から覆し、家族農業中心から企業が支配できる農業につくり変えようとするものだが、市長の見解を伺う。  (2) 担い手の高齢化、農地の荒廃、限界集落が進み、子ども達の数も減少し、今でもさまざまな問題がうずまいている。農家と地域が元気になるには、どのような方向が必要とお考えか伺う。  (3) 今後、本市の農業が発展していくために、独自の政策と計画について伺う。</p>

# 一般質問通告順序表

No.3 (6月22日)

番号	質問者	質問の相手	質問の要旨
1	宇都 耕平	市長	<p><b>1. ふるさと納税について</b></p> <p>(1)平成20年12月議会で質問したが、その後どのような対策をとってきたか伺う。</p> <p>(2)今後、ふるさと納税寄附金を増やすために、どのように取り組んでいく考えか伺う。</p> <p><b>2. 市来駅前周辺の今後の整備計画について</b></p> <p>(1)県道市来停車場線については拡幅の必要があるが、県への対応はどのようになっているか伺う。</p> <p>(2)市来駅前広場の今後の整備予定等について伺う。</p>
2	西別府 治	市長	<p><b>1. 浦和町から新生町の防風林の適正な管理について</b></p> <p>(1)植林など現在までの管理状況について伺う。</p> <p>(2)防風効果を低減させない伐採量について伺う。</p> <p>(3)防風林と地域が共生できる環境づくりについて伺う。</p> <p><b>2. 照島海岸の自然環境を生かした交流人口増加について</b></p> <p>(1)旧照島海水浴場の管理状況について</p> <p>①現在の海水浴場管理棟の利用について伺う。</p> <p>②管理棟海側の手洗い場に外部のシャワーを設置し、期間限定の利用ができないか伺う。</p> <p><b>3. ふるさと納税の促進と産業の6次化推進について</b></p> <p>(1)ふるさと納税について</p> <p>①納税の現状について伺う。</p> <p>②寄附金の使い道や活用事業の紹介など公表の手法やリピート率向上戦略などの政策システムについて伺う。</p> <p>(2)6次化推進について</p> <p>①返礼の産品を季節ごとにブランド化できないか伺う。</p> <p>②ブランドの情報発信と販路拡大について伺う。</p> <p>③「食」をテーマとした、農林水産業・加工業・観光関連産業の更なる連携強化について伺う。</p>

3	田中 和矢	市 教 育 長	<p><b>1. グラウンドゴルフ屋内施設建設について</b> 市内外からの大会を誘致し流動人口の増加を図り、並びに高齢者の健康維持医療費節減のために天候に左右されない屋内施設の建設について伺う。</p> <p><b>2. 街路樹剪定と公園内遊具の管理について</b> (1) 電話線、電線を切断する危険性がある程に生い茂った街路樹の管理について伺う。 (2) 公園内の錆びや老朽化で幼児が安心して使えない遊具の保守について伺う。</p> <p><b>3. 中央通りタイル舗装の改修について</b> 本市の目抜き通りである中央通りで、車両のスリップや破損したタイルが飛び店舗のガラス割れ等が発生している。その対策について伺う。</p> <p><b>4. 避難計画及びヨウ素剤配布について</b> 超高齢化が進む中、自宅で一生懸命に暮らしている人、認知症の方、病院や施設で医療を頼りに生きている方々をどう避難させ、その命と生活をどのように守れるのか。また、ヨウ素剤の配付は確実に、しかも迅速に実施できるのか伺う。</p>
4	平石 耕二	市 消 防 長	<p><b>1. 本市消防行政について</b> (1) 市来分遣所の有り様について伺う。 (2) 退職職員の活用について伺う。 (3) 現有の組織体制について伺う。</p>